株式会社エスバイエス

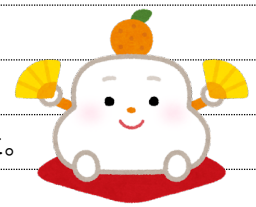
News Letter

January

Vol.34

新年明けましておめでとうございます！ エスバイエスです。
本年も変わらぬお付き合いをお願い申し上げます。
昨年の漢字は「税」でしたね。
頻繁な増税議論やインボイス制度の導入などがあったことなどが選出理由のようです。
今では消費税は当たり前になっていますが、消費税がなかった時代もあると思うと
とても羨ましくなります。
2023 年、皆さんの中の漢字は何でしたか。

新年になりお年玉を渡された方も多いと思います。
そこで今回はお年玉の由来について調べてみました。
現代では子供たちにポチ袋に入ったお金を渡していますが昔はお餅だったそうです。
新年に年神様を迎えて依りついた餅玉には年神様の御魂が宿り、
それを年魂と呼んでいたそうです。
家長が「御年魂」「御年玉」として家族に分け与え、
お雑煮にして食べることで魂を体に取り込むと考えられていました。



江戸時代にはお餅だけでなく品物やお金を渡すようになり、
高度経済成長期から都市部を中心にお金を渡すことが主流となったようです。
お年玉は基本的に目上から目下の者に渡すものとされているため、
今では一般的に子供に渡すよう変化していき、
大人同士の挨拶では現金以外の品物を御年賀として渡すようになりました。

現在はキャッシュレス決済が浸透してきた背景もあり、
お年玉を現金ではなく電子マネーなどで渡すこともあるようです。
また中国が起源と言われているお年玉の風習はアジア圏などの他の国でも見られます。
【中国】
赤いポチ袋に入れて大人から子供に渡すことで１年の厄払いになると考えられている。
上司から部下のように大人同士でもやり取りが行われる。

【台湾】
子供が成人すると子から親へ渡すようになる。
【香港】
親戚の集まりで未婚の人はお年玉をもらえる。
【インド】
正月の祭りに合わせて料理やお菓子を用意し近所の子供を招待してお年玉を渡す
ヒンドゥー教の女神に基づく行事のためもらえるのは女の子のみ。

11 月上旬には３年振りに社員旅行がありました！
一昨年が創立 30 周年の節目ということもあり、
今回は長めの２泊３日で関西方面へ足を運びました。
２日目は大阪と和歌山のどちらかを選択できるプランで丸１日自由行動だったので、
それぞれ羽を伸ばせたと思います。
コロナも落ち着き連休も重なっていたため、道路や観光先がとても混雑していましたが

普段食べる機会のない美味しいごはんを
食べたり、なかなか足を運ぶことのない場所を
観光できてリフレッシュできました。

2024 年もどうぞよろしくお願いいたします。

富士営業所　篠原真由